

ひょうごの「農」2022

御食国ひょうご みけつくに 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と
五国の持続的发展





農林水産業・農山漁村の 持続的発展をめざして

兵庫県知事

齋藤元彦

コロナ禍による外食・インバウンド需要の落ち込み、EC(電子商取引) サイト等を利用した農家による直販拡大、国際的な木材価格の高騰など、県産農林水産物を取り巻く環境は大きく変化しています。

さらに、自然豊かな地方で、生き生きと暮らし、働くというライフスタイルの浸透とともに、UJIターンなどにより、新規就農を希望する人も、徐々に増えていくことが予測されます。

そうした新たな潮流を踏まえながら、持続可能で力強いひょうごの「農」を確立していかなければなりません。

兵庫県では、2021年3月に策定した「ひょうご農林水産ビジョン2030」のもと、①基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開、②県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出、③「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実を基本方向に、様々な施策を展開しています。

変化が激しく、先の見通しにくい時代だからこそ、新しい成長の種を積極的にまいていき、農林水産業や農山漁村のさらなる振興を図っていくことが重要です。

その一つが、ICTやセンシング技術を活用したスマート農業の推進です。県では、課題を抱える産地と技術を有する企業のマッチングを図り、効率化や高品質化を進めることとしています。

また、2025年の大阪・関西万博を見据え、農林水産業の現場でも、SDGsの取組を実践していくことが重要となります。このため、SDGsを実践する農林漁業団体等を支援するとともに、取組の見える化を進めていきます。

この冊子は、「ひょうご農林水産ビジョン2030」の概要と、農林水産業・農山漁村に関する2022年度施策などを分かりやすくまとめたものです。県民の皆様にご覧いただき、ひょうごの「農」への理解がより一層深まることを願っています。

目 次

第1部 ひょうごの農林水産業の概要

- 1. 多彩なひょうごの農林水産業 P1~2
- 2. 農林水産業の概要 P3~4

第2部 ひょうご農林水産ビジョン2030概要

- 1. めざす姿 P5
- 2. ビジョンの基本方向 P5~6
- 3. ビジョンの位置付け P6
- 4. ビジョンの計画期間 P6
- 5. 推進項目と主な取組 P7~8

第3部 2022年度施策の概要

- 1. ビジョン2030施策体系と2022年度予算 P9
- 2. 2022年度の重要施策 P10~14

1. 多彩なひょうごの農林水産業

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海及び太平洋に続く紀伊水道に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、高原、平野、島々など広大で変化に富んだ地形と厳寒、降雪、乾燥、温暖という様々な気候が存在するなど、他府県に類を見ない多様な自然環境を有しています。さらに、歴史的に形成されてきた特色ある固有の風土、文化を有する摂津（神戸・阪神）、播磨、但馬、丹波、淡路といった5つの地域で構成されており、多様な自然環境のもと、それぞれの地域の気候・風土に根ざした多彩な農林水産業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、農産物では、山田錦（酒米）（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーション、また、水産物では、シラス（1位）、ホタルイカ（1位）、ハタハタ、ズワイガニ、ノリ養殖、イカナゴなどがあります。

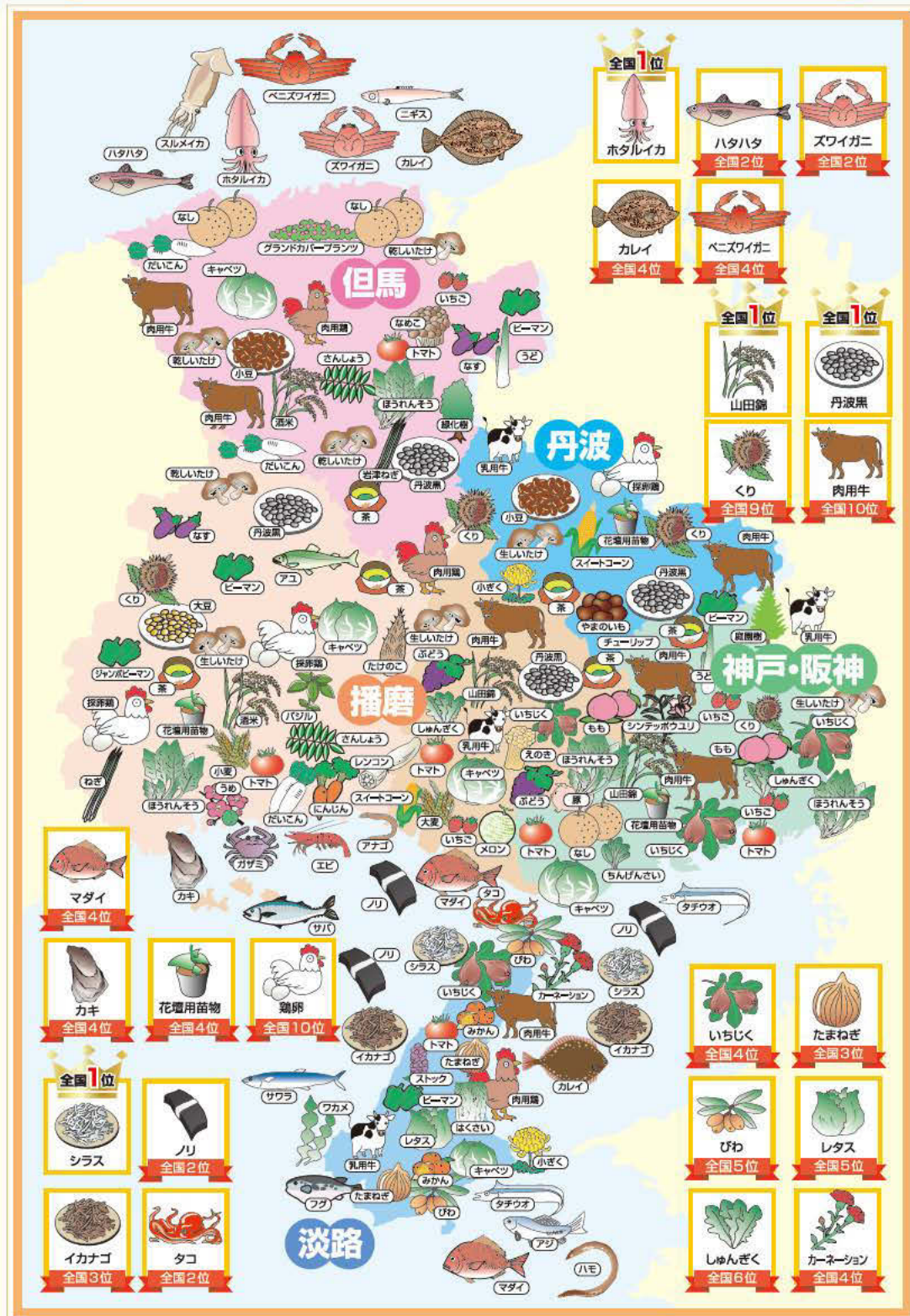
また、神戸ビーフ、明石鯛などは、全国的にも有名なブランドとして知られています。

地域的には淡路地域など農林水産業の盛んな地域を有する一方、人口の多い神戸・阪神地域を有する消費県でもあります。このため、食料自給率（2019年度）は、カロリーベースでは15%（全国38%）、生産額ベースでは38%（全国66%）と全国よりも低い水準となっています。

全国上位を占める主な農林水産物

	項 目	生 産 量 等	全国シェア	全国順位	県内の主な産地	備 考（資料）
米	山田錦〔酒米〕（出荷量）	20,542 t	59.3%	1	播磨地域	農林水産省「令和元年産米の農産物検査結果（確定値）」 ※山田錦出荷量は検査数量ベース
豆	丹波黒〔黒大豆〕（収穫量）	1,072 t	41.1%	1	丹波・播磨地域	県農産園芸課調べ（2020年）
野菜	たまねぎ（収穫量）	98,500 t	7.3%	3	淡路地域	農林水産省「令和2年産野菜生産出荷統計」
	レタス（収穫量）	29,300 t	5.2%	5	淡路地域	//
	しゅんぎく（収穫量）	1,350 t	4.9%	6	神戸・阪神地域	//
	はくさい（収穫量）	20,300 t	2.3%	11	淡路地域	//
	キャベツ（収穫量）	28,000 t	2.0%	11	淡路・神戸地域	//
果実	いちじく（収穫量）	1,342 t	11.3%	4	神戸・阪神地域	県農産園芸課調べ（2018年）
	びわ（収穫量）	165 t	6.2%	5	淡路地域	農林水産省「令和2年産果樹生産出荷統計」
	くり（収穫量）	456 t	2.7%	9	丹波・阪神地域	//
花き	カーネーション（出荷量）	18,500千本	9.0%	4	淡路地域	農林水産省「令和2年産花き生産出荷統計」
	花壇用苗もの類（出荷量）	26,000千本	4.6%	4	神戸・播磨地域	//
畜産物	生乳（生産量）	77,648 t	1.0%	15	淡路・播磨地域	農林水産省「令和2年牛乳乳製品統計」
	肉用牛（飼養頭数）	57,300頭	2.2%	10	淡路・播磨・但馬地域	農林水産省「令和2年畜産統計」
	鶏卵（生産量）	99,434 t	3.8%	10	播磨地域	農林水産省「令和2年畜産物流通統計」
	ブロイラー（出荷羽数）	13,669千羽	1.9%	11	但馬地域	農林水産省「令和2年畜産統計」
	はちみつ（生産量）	70 t	2.4%	14	播磨・阪神地域	農林水産省畜産振興課調べ（令和2年）
水産物	シラス（漁獲量）	14,505 t	24.2%	1	瀬戸内海	農林水産省「令和元年漁業・養殖業生産統計」
	イカナゴ（漁獲量）	1,025 t	9.0%	3	瀬戸内海	//
	ノリ養殖（収穫量）	53,093 t	22.0%	2	瀬戸内海	//
	ズワイガニ（漁獲量）	791 t	22.5%	2	日本海	//
	ハタハタ（漁獲量）	1,206 t	22.5%	2	日本海	//
	ホタルイカ（漁獲量）	3,840 t	63.0%	1	日本海	県水産課調べ（2019年）
	タコ類（漁獲量）	1,283 t	3.6%	2	瀬戸内海	農林水産省「令和元年漁業・養殖業生産統計」
	カレイ類（漁獲量）	1,847 t	4.5%	4	日本海・瀬戸内海	//
	ベニズワイガニ（漁獲量）	1,908 t	14.4%	4	日本海	//
	マダイ（漁獲量）	1,337 t	8.4%	4	瀬戸内海	//
	カキ（漁獲量）	7,361 t	4.6%	4	瀬戸内海	//

多彩なひょうごの農林水産物マップ



「農」とは

土を耕し、森を育て、豊かな海を守り、食料をはじめ人々の生活を支える様々なものを産み出す農林水産業の営み、その営みを通じた生物多様性などの環境保全や洪水防止、水源かん養等の多面的機能により県民の「いのち」と「くらし」を支えるもの。

さらには、人々の生活の場である農山漁村とそこに育まれた伝統・文化、豊かで美しい景観など、広く農林水産業・農山漁村を捉えた概念。

2. 農林水産業の概要

農業の現状

①農業産出額

本県の農業産出額は1,509億円（全国22位）で、近畿地方（6府県）の32%を占めており、京阪神都市圏の食料生産基地として重要な地位にあります。

農業産出額の構成比を見ると、米（32%）、野菜（23%）、畜産（38%）で全体の約93%を占めており、全国と比べると米の比率が高くなっています。

②基幹的農業従事者の年齢構成

基幹的農業従事者の平均年齢は70.6歳と全国（67.8歳）よりも高く、高齢化が進行しています。

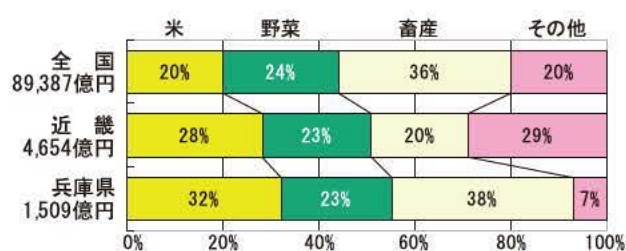
③耕地面積

耕地面積は、72,800ha（全国18位）です。そのうち水田面積は66,700ha（全国12位）で、耕地全体に占める割合は全国（54%）と比べると極めて高く、92%となっています。

一経営体当たりの経営耕地面積は1.2haで、全国（3.1ha）の半分以下であり、小規模な経営が大半を占めています。

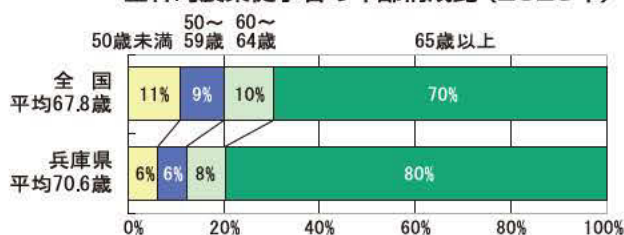
また、降水量の少ない瀬戸内地域や淡路地域を中心に、ため池が数多く築造されており、農業用水の約半分はため池に依存しています。

農業産出額の構成比（2019年）



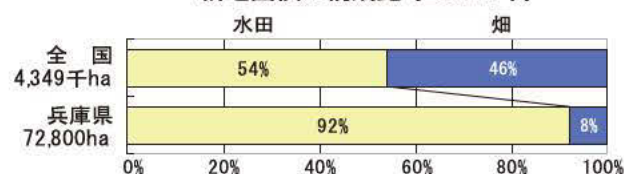
資料：令和元年生産農業所得統計（確報）

基幹的農業従事者の年齢構成比（2020年）



出典：2020年農林業センサス

耕地面積の構成比（2021年）



出典：令和3年耕地及び作付面積統計

畜産業の現状

①畜産業産出額

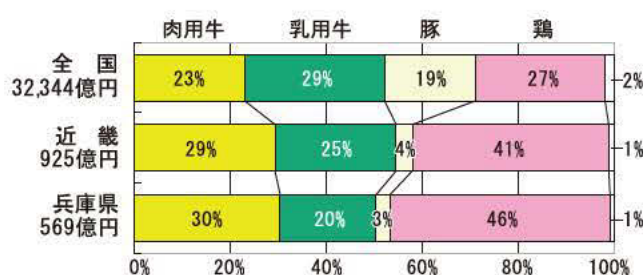
本県の畜産業の産出額は569億円で、近畿地方（6府県）の62%を占めています。家畜別では、肉用牛が169億円、乳用牛が116億円、豚が18億円、鶏が264億円となっています。

②飼育状況

家畜の飼育状況は、肉用牛が57,300頭（全国10位）、乳用牛が13,000頭（全国15位）、豚20,200頭（全国38位）、採卵鶏が632万羽（全国11位）、肉用鶏が247万羽（全国13位）となっています。

肉用牛は県下全域で飼育されていますが、そのうち繁殖雌牛は50%が淡路地域で、26%が但馬地域で飼育されています。乳用牛は36%が淡路地域で飼育されており、採卵鶏は86%が播磨地域で、肉用鶏は69%が但馬地域で飼育されています。

畜産業産出額の構成比（2019年）



出典：令和元年生産農業所得統計（確報）

林業の現状

①森林面積

本県の森林面積は559,303ha(全国14位)で、県土に占める森林の割合は全国とほぼ同じ67%ですが、そのうち、個人や集落が所有している民有林は529,971haで、その割合は95%と全国と比べて極めて高い状況です。

また、民有林の42% (221,469ha) をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生(10齢級)以上の森林が77%を占めています。

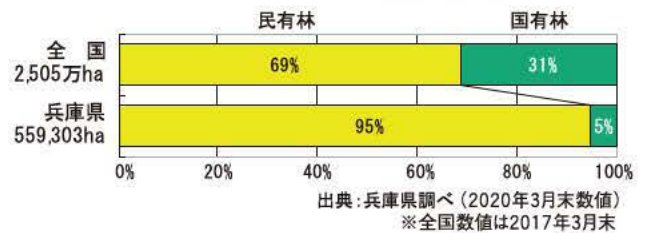
②林業労働者

県内林業労働者数は、2020年度末現在734人で、減少傾向は続くものの、50歳未満の労働者数は、1993年度の276人から2020年度には425人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

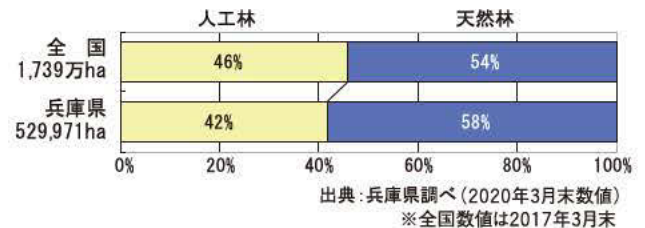
③林業産出額

林業産出額は38.1億円で、このうち木材生産は24.4億円(64%)であり、針葉樹の産出額が97%を占めています。また、栽培きのご類は9.5億円(25%)で、このうち、生しいたけが89%を占めています。

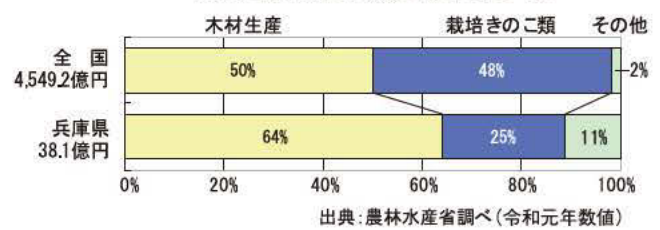
森林の構成比(2019年)



民有林の構成比(2019年)



林業産出額の構成比(2019年)



水産業の現状

①漁業産出額

本県の漁業産出額は485億円で、全国9位(シェア3.6%)に位置するとともに、近畿地方(6府県)の69%を占めています。

②日本海の特徴

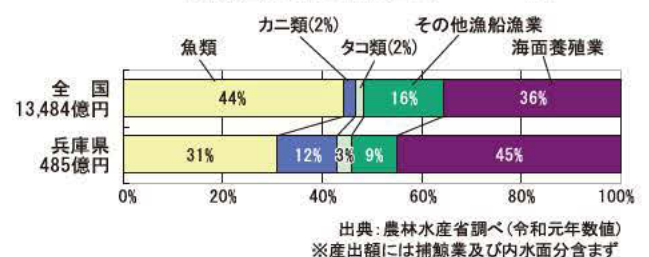
日本海では、冬季風浪が厳しく、浅海域が少ないことから、大型船による沖合漁業が中心で、ズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタ、カレイ類、ベニズワイガニなどが漁獲されています。

③瀬戸内海の特徴

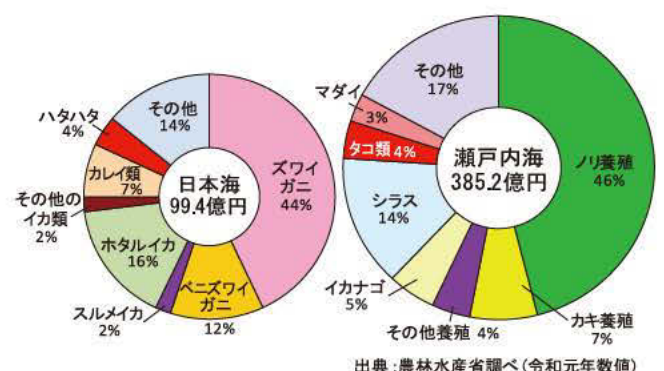
瀬戸内海では、比較的水深が浅く、波浪が穏やかなことから、10t未満の小型船による沿岸漁業が中心となり、タコ、マダイ、シラス、イカナゴなどが漁獲されています。また、ノリやカキ等の養殖業も盛んで、特にノリ養殖の生産額は176億円と瀬戸内海の漁業産出額の46%を占めています。

シラス、ホタルイカが全国1位、ズワイガニ、タコ、ハタハタ、スズキ類、ノリ養殖が同2位など、生産量が全国順位の上位を占める水産物も多く、重要な地域資源として各地域の活性化に寄与しています。

漁業産出額の構成比(2019年)



海域別の漁業産出額の構成比(2019年)



1. めざす姿

みけつくに
御食国ひょうご 令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした
農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展～

新型コロナウイルスの影響を乗り越え、販売チャネルの多様化を図り経営基盤を強化した経営体が増加しています。また、UJIターン、二地域居住に対する関心の高まりに各地域が積極的に対応することにより地域が活性化しています。

さらに、SDGsの理解が深まり、都市近郊の立地を活かして実需者や消費者と直接結びついた持続可能な力強い農林水産業が展開されています。近年多発する自然災害への対応として防災・減災対策が進み、農福連携や農泊など「農」と多様な分野との連携による新たな取組が県内に広がり、県民が安心して暮らせる活力ある地域が創出されています。加えて、ひょうごの「農」がもたらす恵みが県民はもとより国内外でも享受され、ひょうごの「農」にかかわるすべての人々の健康で豊かな暮らしに結びついています。

2. ビジョンの基本方向

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

スマート化による効率化、産品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャネルの多様化、海外市場の開拓等により、**基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開**をめざす。

農業



都市近郊の立地を活かし、施設野菜など野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進による次代を担う担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、実需と結びついた競争力の高い農業の展開をめざす。

畜産業



但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳生産の増産等を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化をめざす。

林業



人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業の構築をめざす。

水産



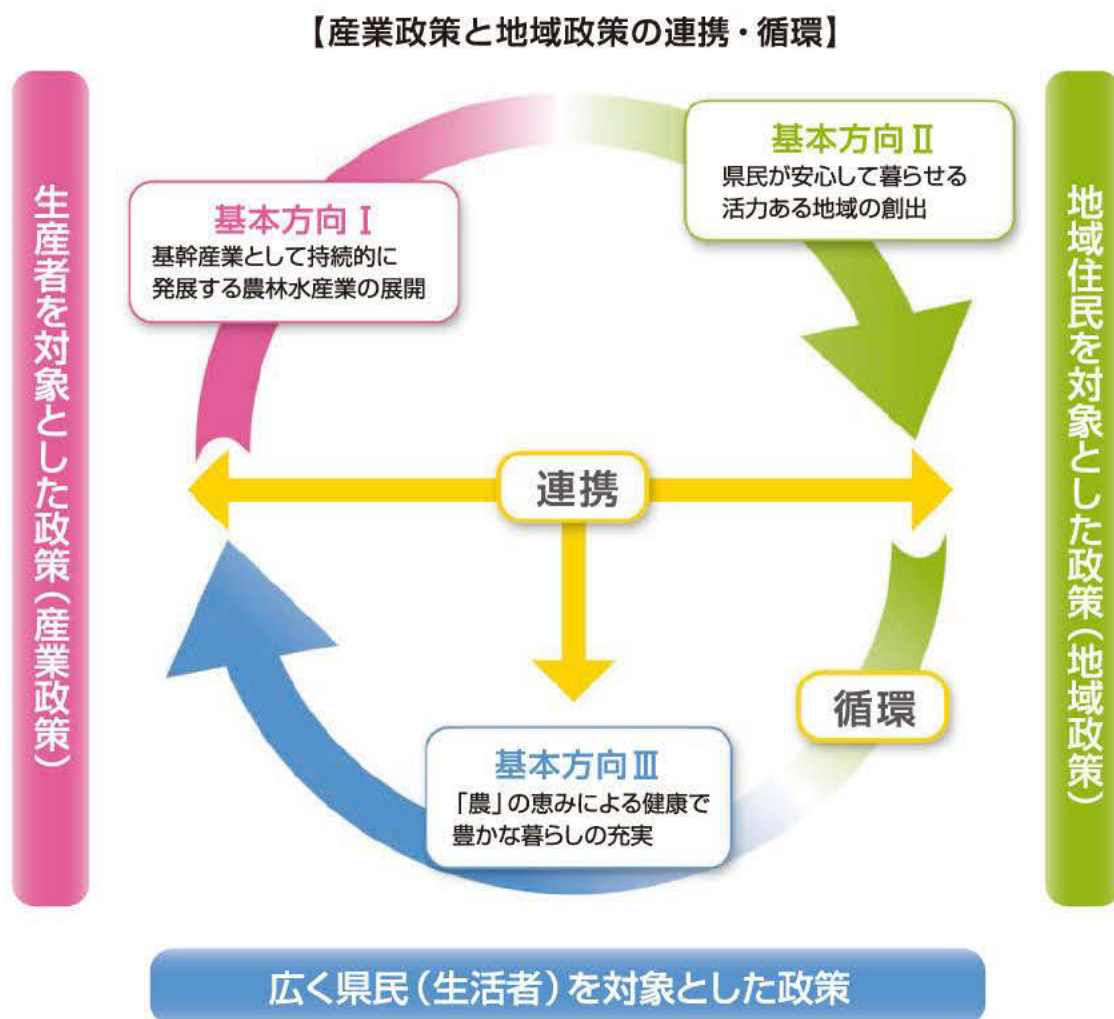
適正な栄養塩管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業の確立をめざす。

基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

地域ぐるみの協働活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能・公益的機能など森林の機能向上等により、**県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出**をめざす。

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化、県産農林水産物の安全・安心で安定的な供給体制の強化により、「農」の恵みによる**県民（生活者）の健康で豊かな暮らしの充実**をめざす。



3. ビジョンの位置付け

本県農林水産行政推進の基本となる計画的かつ総合的な指針です。

また、農林水産業従事者のみならず、農山漁村や都市で暮らす人々などの県民、さらにインバウンドによる観光旅行者等、本県の食と「農」に関わるすべての人々を対象とした行動指針です。

4. ビジョンの計画期間

このビジョンの計画期間は、令和3年度から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

5. 推進項目と主な取組

基本方向Ⅰ 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

(1) スマート化による新しい農林水産業の実現

- ①低コストで導入可能な兵庫型スマート農業技術の開発・実証
- ②スマート農林水産業の導入推進（搾乳ロボット、森林クラウドシステム、漁場環境情報システム等）
- ③スマート農業機械の共同利用等の支援



ドローンによる農業散布（丹波市）

(2) 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

- ①高度環境制御技術の導入等による競争力の高い施設園芸産地の育成
- ②高温対策や需要と直結した米の安定生産の推進
- ③法人化と法人経営の強化による持続的な経営体の育成
- ④収入保険制度・農業共済制度への加入や制度資金の活用による経営の安定化の促進
- ⑤農作業の分業化による副業的な農作業の従事者や地域の多様な人材の確保
- ⑥地域ぐるみによる新規就農者の確保・定着支援
- ⑦「人・農地プラン」の実質化やオペレーターの育成等による集落営農の組織化と経営力の強化
- ⑧企業による大規模な農業参入の促進
- ⑨野生動物の「潜み場」対策やスマート化等による荒廃農地の発生防止・解消
- ⑩地域の農業を支え合う持続可能な協働体制の確立（いきいき農地バンク方式、リモコン式草刈機の導入等）
- ⑪農家と消費者が連携し相互に支え合う地域支援型農業（CSA）の推進
- ⑫農地の集積・集約化及び農地の大区画化やパイプライン化の推進
- ⑬人と環境にやさしい環境創造型農業の拡大



高度な環境制御技術を導入したいちごハウス（稲美町）

(3) 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

- ①牛舎整備や繁殖雌牛の導入支援等による但馬牛増頭の推進
- ②但馬牛肥育マニュアル等を活用した高品質な牛肉等の安定生産の推進
- ③但馬牛・神戸ビーフのブランド力の強化（神戸ビーフ館、但馬牛博物館）
- ④牛舎・機器の整備支援等による生乳生産の拡大
- ⑤高品質な堆肥生産と耕畜連携推進



但馬牛博物館「農業遺産体験館」（新温泉町）

(4) 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

- ①民間施設の木造・木質化や燃料用チップの安定供給などによる県産木材の利用推進
- ②人工林のゾーニングによる木材生産と環境保全の調和がとれた計画的な森林整備の推進
- ③県立森林大学校の充実による新規林業就業者の確保・育成
- ④低コストで効率的な主伐・再造林の普及モデルの展開



高性能林業機械を用いた効率的な原木生産（養父市）

(5) 豊かな海と持続的な水産業の実現

- ①漁業者による海底耕うん等による浅場や藻場等の生物生息環境の保全・回復
- ②環境改善が期待出来る種苗等の放流による新たな栽培漁業の展開
- ③漁場現場での長期研修等の支援による漁業者の確保・育成
- ④漁業者の所得向上に向け収益性の高い養殖業・漁船漁業の確立



最新設備を導入した改革型沖合底びき網漁船（香美町）

(6) 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

- ① 産品が持つ優位性(魅力)を明確にしたブランド戦略の策定・実践の推進
- ② ECサイトの活用や兵庫県認証食品のプロモーション強化
- ③ 神戸ビーフ、県産米、日本酒等の輸出促進
- ④ 生産から消費まで結びつけるフードチェーンづくりと高付加価値化の推進
- ⑤ 農家自らによる商品開発や直販等につながる6次産業化の推進

(7) 食の安全を支える生産体制の確保

- ① GAP(農業生産工程管理)や農場HACCPの考え方に基づく衛生管理体制の導入推進
- ② 重大家畜伝染病の発生・まん延防止(口蹄疫や豚熱、鳥インフルエンザ等)



兵庫県認証食品
キャンペーンポスター

基本方向Ⅱ 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

(8) 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

- ① 棚田の多面的機能の維持と地域の賑わいづくりの推進
- ② UJIターン施策と連携した定住・二地域居住や就農促進
- ③ 野生動物の個体数管理による農林業被害の軽減対策の推進
- ④ 多面的機能支払制度・中山間地域等直接支払制度を活用した農業生産活動等の推進
- ⑤ バイオマスを活用した地域活性化の推進
- ⑥ 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進



ひょうご棚田シンポジウムの開催
(市川町)

(9) 農山漁村の防災・減災対策の推進

- ① ため池の定期点検・巡回点検の実施やそれに伴う改修整備・廃止の推進
- ② 治山ダム整備等による計画的な危険地区の解消
- ③ 漁港施設の長寿命化等の推進



豪雨対策を実施した
ため池(洲本市)

(10) 豊かな森づくりの推進

- ① 森林環境譲与税を活用した森林管理の徹底
- ② 針広混交林への誘導や危険木伐採等による災害に強い森づくりの推進

基本方向Ⅲ 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

(11) 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

- ① 楽農生活の意義の理解促進
- ② 田園回帰に伴う定住・二地域居住や半農半X志向による楽農生活実践の拡大
- ③ 地域楽農生活センターの全県への拡大



きのご収穫体験
(兵庫楽農生活センター、神戸市西区)

(12) 「農」と多様な分野との連携強化

- ① 農林漁業者と福祉事業所とのマッチング促進による農福連携の推進
- ② グリーン・ツーリズムの推進
- ③ マリン・ツーリズムの推進

(13) 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

- ① 卸売市場を通じた安定供給の確保
- ② 県産県消の推進(直売活動の支援、おいしいごはんを食べよう県民運動、学校給食での県産物の利用促進、食育、魚食普及)



農福連携研修会(神戸市西区)

1. ビジョン2030施策体系と2022年度予算

【めざす姿】

【基本方向】

【推進項目】

【推進項目の概要】

御食国ひょうご 令和の挑戦

都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展

I

基幹産業として持続的に発展する
農林水産業の展開

40,804百万円

1. スマート化による新しい
農林水産業の実現

234百万円

2. 多様性と都市近郊の立地
を活かした力強い農業の
展開

8,643百万円

3. 需要に応じた高品質な
畜産物の生産力の強化

535百万円

4. 木材利用の拡大と
資源循環型林業の推進

28,631百万円

5. 豊かな海と持続的な
水産業の実現

2,121百万円

6. 農林水産物のブランド力
強化と生産者所得の向上

448百万円

7. 食の安全を支える
生産体制の確保

191百万円

ICTやセンシング技術、自動化技術など先端技術を活用し、各地域の営農条件等に対応したスマート化を推進します

多様な自然環境と消費地に近接する立地を活かし、実需と結びつけた競争力の高い農業を展開します

神戸ビーフ館の開設や但馬牛の日本農業遺産の認定を契機とし、神戸ビーフ、但馬牛のさらなる需要を喚起します

県産木材の利用を促進し、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する「資源循環型林業」を構築します

漁場整備や増殖場の機能を回復・強化し、積極的な種苗放流等により、豊かで美しい海を再生します

県産農林水産物について、それぞれの産品が持つ優位性（魅力）を明確にし、国内・海外市場をターゲットに流通・販売の拡大を図ります

生産者と連携して、食の安全性を確保するとともに、持続可能な生産体制を強化し、県民に信頼される食の安定供給を推進します

II

県民が安心して暮らせる活力ある
地域の創出

23,785百万円

8. 特色を活かした活力ある
地域づくりの推進

5,763百万円

9. 農山漁村の
防災・減災対策の推進

15,283百万円

10. 豊かな森づくりの推進

2,739百万円

田園風景や地域のお祭りなどの地域資源の活用や、地域ぐるみで環境保全に取り組むことにより、集落機能の維持等を推進します

近年頻発化する局地的な豪雨や台風、近い将来に危惧される南海トラフ等巨大地震に備えるため、安全・安心な農山漁村づくりを推進します

森林を県民共通の財産と位置づけ、県民緑税などを活用した、森林の適正管理と災害に強い森づくりにより、森林の公益的機能の維持・向上を推進します

III

「農」の恵みによる
健康で豊かな
暮らしの充実

318百万円

11. 食と「農」に親しむ
楽農生活の推進

110百万円

12. 「農」と多様な分野との
連携強化

69百万円

13. 県民への農林水産物の
安定供給と県産県消の
推進

138百万円

県民一人ひとりの「楽農生活」が充実し、さらには県民の取組が地域や世代を超えたつながりや広がりを推進します

「農」と福祉や観光など他分野との連携を強化し、農福連携やグリーン・ツーリズム等の取組の展開により、農山漁村の活性化を推進します

卸売市場をはじめとした流通システムのより一層の強化や、県産県消の推進により消費者と生産者がともに支え合う関係を構築します

※予算額は10万円単位で四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

2. 2022年度の重要施策

1.兵庫型スマート農業の推進	○スマート農業技術のマッチングの推進	P.11
2.環境創造型農業の取組拡大の加速化	①環境創造型農業技術の横展開と地域一体での取組の推進 ②有機農業の産地づくりの推進	P.11
3.地域農業の担い手育成と農地有効活用の一体的推進	①持続性のある農業経営体の育成 ②地域ぐるみの新規就農者の確保・育成 ③地域の多様な人材の役割分担と相互補完による農地保全・有効活用	P.11
4.但馬牛・神戸ビーフのブランド強化	①ゲノム情報を活用した効率的な但馬牛改良の推進 ②県立但馬牧場公園「但馬牛博物館」の機能強化	P.12
5.県産木材の利用拡大	①木造住宅への県産木材のさらなる活用に向けた設計支援 ②民間建築物の木造・木質化支援体制の強化 ③林地残材活用ビジネスモデルの確立 ④市町によるJクレジット制度の活用支援	P.12
6.豊かな海づくりの推進	①第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催 ②海づくり大会のレガシーを受け継ぐ県民運動の展開 ③豊かな海のもとで進める漁業の成長産業化	P.12
7.県産農林水産物流通・販売の拡大支援	①県内スーパー等での販売拡大支援 ②関西圏での県産品の商流拡大・認知度向上支援 ③デスティネーションキャンペーン（DC）と連携したプロモーション	P.13
8.県産県消の推進	○学校給食への県産食材の供給拡大	P.13
9.重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底	○初動防疫に必要な資材の備蓄と効率的な供給体制の強化	P.13
10.ため池災害等の未然防止と避難対策の促進	①ため池情報の把握と適正管理の推進 ②ため池防災工事の実施 ③減災・避難対策の促進	P.14
11.災害に強い森づくりの推進	①里山防災林整備 ②緊急防災林整備	P.14
12.ひょうご農林水産ビジョン2030×SDGs推進プロジェクトの展開	①SDGsに対する理解促進 ②SDGsの専門家を農林漁業団体等に派遣	P.14

2022年度の重要施策

重要施策 1 兵庫型スマート農業の推進

農業の省力化や労働環境改善、経営安定等を目指すため、ICT等の先端技術を活用したスマート技術の導入を支援します。

【取組内容】

●スマート農業技術のマッチングの推進

スマート農業技術を有する企業と技術支援を希望する産地とのマッチングサイトを開設

民間人アドバイザーが情報収集・提供、マッチングを行い、産地に適したスマート技術の組立、実装に向けた現地実証等を支援



ラジコン式草刈機の実演(上郡町)

重要施策 2 環境創造型農業の取組拡大の加速化

地球環境や生物多様性に配慮した環境創造型農業の取組拡大を加速化するため、省力・低コストな環境創造型農業技術の確立・普及、有機農業の産地づくりを支援します。

【取組内容】

①環境創造型農業技術の横展開と地域一体での取組の推進

各地域・品目に適した省力・低コストな環境創造型農業技術の組立や普及を推進

地域ぐるみでの環境創造型農業への転換を推進するため、地域計画の策定や栽培マニュアルの見直しを支援

②有機農業の産地づくりの推進

地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫した取組を行う有機農業推進のモデル的地区(オーガニックビレッジ)を創出



土づくり研修(養父市)

重要施策 3 地域農業の担い手育成と農地有効活用の一体的推進

持続可能な地域農業構造の実現に向け、担い手の確保・育成と農地の有効利用を一体的に推進します。

【取組内容】

①持続性のある農業経営体の育成

経営力の高い担い手の育成に加え、地域の話合いや合意形成を促す人材を育成し、地域の課題解決等を通じた人・農地プランの作成・実行、集落営農の組織化等を推進

②地域ぐるみの新規就農者の確保・育成

地域の関係者・機関が一体となって、農業・暮らしの両面から新規就農者の円滑な定着を支援し、地域農業の後継者を確保・育成する取組を推進

③地域の多様な人材の役割分担と相互補完による農地保全・有効活用

地域合意のもと、農地バンクを活用しながら、担い手と地域が協働して守るべき農地の有効利用を図る取組を加速化



集落営農経営承継セミナー(加東市)

重要施策4 但馬牛・神戸ビーフのブランド強化

但馬牛の改良手法にゲノム解析を取り入れ、遺伝的多様性の確保と効率的な改良を実現するとともに、但馬牛博物館による情報発信を強化し、更なる需要拡大を図ります。

【取組内容】

①ゲノム情報を活用した効率的な但馬牛改良の推進

但馬牛のゲノム情報を解析し、遺伝的多様性を確保できる新たな系統分類を確立

改良効率の向上を図るため、ゲノム情報を活用し、経済的能力による選抜を子牛段階から実施

②県立但馬牧場公園「但馬牛博物館」の機能強化

企画展の開催や館長、学芸員アドバイザーの設置、校外学習の受け入れなど、但馬牛・神戸ビーフに関する情報発信を強化



肉質能力に優れた種雄牛「丸春土井」

重要施策5 県産木材の利用拡大

新たな木材需要や用途を開拓することで県産木材の利用拡大を図ります。

【取組内容】

①木造住宅への県産木材のさらなる活用に向けた設計支援

住宅における県産木材の利用を促進するため、梁や桁などに県産木材を使用する場合の設計費に上乘せ支援

②民間建築物の木造・木質化支援体制の強化

県民への波及効果を期待し、多くの県民が利用する施設や木の良さが活かせる施設（診療所等）の木質化を支援

③林地残材活用ビジネスモデルの確立

丸太よりも集材コストがかかり林内に放置されている林地残材について、効率的な集材方法を検証

④市町によるJクレジット制度の活用支援

市町がJクレジット制度（間伐等の森林整備効果をクレジットとして売買）を活用し、新たな収益で森林整備が進むよう支援



多くの県産木材を使用した
携帯ショップ（丹波篠山市）

重要施策6 豊かな海づくりの推進

「豊かな海」の実現に向けた取組と多彩な魅力を全国に発信するため、第41回全国豊かな海づくり大会を令和4年11月に明石市で開催します。

【取組内容】

①第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会の開催

リレー放流、作品コンクールなど小中高校生が参画する行事や環境保全団体、海洋レジャー団体、栄養塩類の供給に取り組む企業など、幅広い主体へ関連イベントへの参画や協力を求め、大会に向けた機運を醸成

式典行事、海上歓迎・放流行事、関連行事を通じて、豊かな海の実現に向けた取組を全国に発信

②海づくり大会のレガシーを受け継ぐ県民運動の展開

海に関する幅広い主体が行う豊かな海づくりに向けた活動を支援
活動を深める推進母体を立ち上げ、県民総参加による運動を展開

③豊かな海のもとで進める漁業の成長産業化

海底の堆積物を消化・分解することで、豊かな海の再生に寄与するナマコ、アジアカエビ種苗の本格的な生産・放流を実施

経営感覚に優れた漁業者等の育成と低コスト操業や漁獲物の高付加価値化による収益性向上を支援



大会マスコットキャラクター「はばタン」

重要施策 7 県産農林水産物流通・販売の拡大支援

人口が多い県南地域や関西圏消費地での県産品取扱量の増加を図るため、販路拡大や県産農林水産物の認知度向上に向けた取組を推進し、県内の産地育成、生産拡大につなげます。

【取組内容】

①県内スーパー等での販売拡大支援

量販店等での県産品コーナーの設置や品揃えの充実を図るため、量販店等への出荷に対応する新たな広域配送ルートモデルづくりや店頭でのPR活動を支援

②関西圏での県産品の商流拡大・認知度向上支援

県内はもとより関西圏での販売を検討しているJA（産地）に対し、試行的に関西圏に出荷し、消費者や量販店、デパートなど実需者のニーズを把握するマーケット調査を実施

③デスティネーションキャンペーン（DC）と連携したプロモーション

2023年夏のDCのプレイベントで、「兵庫の食の魅力」を県内外に発信

関西圏の外食チェーン店で県産食材を使ったフェアや神戸・阪神間の飲食店で同一県産食材を使用したフェアを開催



量販店での県産野菜販売コーナー（神戸市）

重要施策 8 県産県消の推進

学校給食における県産食材の利用を増加し、県産農林水産物の生産拡大を図ります。

【取組内容】

●学校給食への県産食材の供給拡大

学校給食での県産食材の利用を推進する市町に対し、学校給食アドバイザーを派遣し、生産者と給食側のニーズをマッチング

学校給食で利用頻度の高い野菜について、規格の統一されたものを安定・継続的に供給できる生産体制を構築



県産食材を利用した学校給食（神戸市）

重要施策 9 重大家畜伝染病の発生・まん延防止対策の徹底

口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の重大家畜伝染病の発生予防対策と発生に備えた防疫体制をより一層強化します。

【取組内容】

●初動防疫に必要な資材の備蓄と効率的な供給体制の強化

重大家畜伝染病発生時に、効率的に防疫資材を発生農場へ供給できるよう、資材備蓄の拡充と民間委託による資材の一元管理並びに緊急時の運搬体制を構築



発生農場での鶏の殺処分（姫路市）

重要施策10 たため池災害等の未然防止と避難対策の促進

頻発化・激甚化する豪雨や地震に備え、農村における安全・安心な暮らしを確保するため、たため池の防災・避難対策を推進します。

【取組内容】

①たため池情報の把握と適正管理の推進

専門技術者による定期点検での健全度評価や「たため池保全サポートセンター」による不具合のあるたため池への巡回指導など管理者の適正な管理を支援

②たため池防災工事の実施

「たため池防災工事等推進計画」に基づき、下流への被害や決壊リスクから優先度が高いたため池を中心に、集中的かつ計画的に改修や廃止工事を実施

③減災・避難対策の促進

地域住民の避難対策の向上をめざし、ハザードマップの活用のほか、遠隔水位監視システムの導入や緊急時の情報伝達を迅速にする「たため池管理アプリ」の利用を促進



廃止工事が完了したたため池（洲本市）

重要施策11 災害に強い森づくりの推進

記録的な豪雨や台風による災害の甚大化・頻発化により、災害リスクが高いことから、森林の防災機能の強化を図るため、災害に強い森づくり（第4期対策）を推進します。

【取組内容】

①里山防災林整備

集落裏山にある里山林の防災機能向上のために行う、危険木伐採などの森林整備や簡易な防災施設の整備に加え、防災マップを活用した地域ぐるみの減災活動を推進

②緊急防災林整備

危険渓流域の森林を対象に、溪流沿いの危険木の除去や災害緩衝林の造成、土留工の設置等により、森林の防災機能を向上



減災に向けた住民と集落裏山の点検（多可町）

重要施策12 ひょうご農林水産ビジョン2030×SDGs推進プロジェクトの展開

農林水産業・農山漁村の持続的発展のため、ビジョンの実現に向けた取組と合わせて、SDGsの取組の見える化を進めて県内外へ広く発信します。

【取組内容】

①SDGsに対する理解促進

農林漁業者や行政職員等を対象とした研修会やセミナーの開催
先導的なSDGs実践モデルの紹介と取組価値を消費者と共創するシンポジウム等を開催

②SDGsの専門家を農林漁業団体に派遣

農林漁業の現場においてSDGsの実践を拡大するため、農林漁業団体に専門家を派遣

農林水産ビジョン2030の主な施策とSDGsとの関連

「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿(御食国ひょうご令和の挑戦～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展)とSDGs(持続可能な開発目標)は、農林水産業・農山漁村を含め「持続可能な地域づくり」をめざす観点で合致しており、また、それぞれは2030年を目標年に定めている点でも共通しています。

本県の農林水産施策をSDGsで定められた17の目標に照らし合わせると、直接結びつきの深いものや、幅広い視点において関連性が浮彫りになるものなど、多くの施策がSDGsと繋がっています。なお、農林水産施策の主なキーワードとSDGsの目標を照らし合わせたものを右図に示しています。

本県では、「ひょうご農林水産ビジョン2030」のめざす姿の実現に向け、各般の施策を推進していきます。

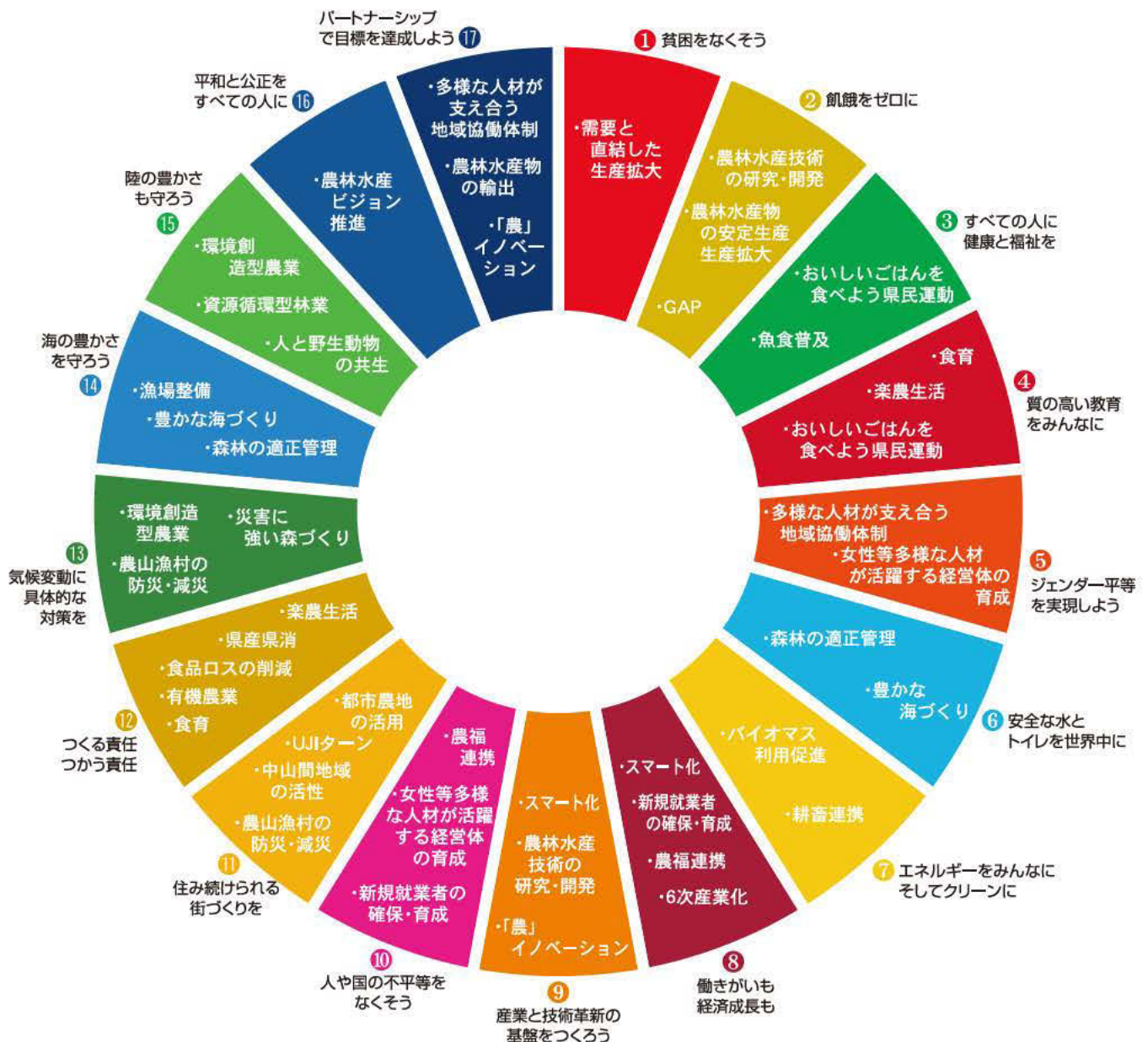
「17の目標」一覧表

目 標	内 容
①  貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
②  飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
③  すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
④  質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
⑤  ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う
⑥  安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
⑦  エネルギーをみんなにそしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
⑧  働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
⑨  産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
⑩  人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する
⑪  住み続けられる街づくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
⑫  つくる責任つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
⑬  気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目 標	内 容
14 SDG 14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 SDG 15 陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16 SDG 16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 SDG 17 パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

出典：総務省 HP

農林水産ビジョン2030 主な施策とSDGsの17の目標の関連図



兵庫 県

令和4年3月

編集／兵庫 県農政環境部

神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL.078-341-7711(代表) FAX.078-362-4458(総合農政課)